



学校評価アンケート

今年度の教育活動に対して、1学期末、「学校評価アンケート」を実施させていただきました。評価内容を真摯に受け止め、保護者や地域の皆様の思いに立ち、生徒一人一人の学校生活が充実するよう努めて参ります。以下、アンケート結果の分析と今後の取組について御案内させていただきます。
表の達成度は「当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた値です。

No.	対象	【学習関係】	質問項目	達成度
1	生徒	わたしは、授業の内容がよくわかる。		91%
2	生徒	わたしは、道徳を含む授業が楽しいと感じている。		90%
	保護者	お子さんは、道徳を含む授業が楽しいと感じている。		68%
3	生徒	わたしは、自分から進んで追究したり、他者と共に解決しようとしていたりしている。		80%
4	生徒	わたしは、課題や提出物の期限を守って提出している。		86%
	保護者	お子さんは、家庭学習(宿題、復習、予習等)が習慣化されている。		65%
5	生徒	わたしは、進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。		73%
6	生徒	自ら問いを持ち、授業中や授業前後、学習week等の時間を活用して進んで問いを解決しようとしている。		63%
7	3年生	わたしはコンピュータなどを使って、自分の考えをまとめたりわかりやすく相手に伝えたりすることができる。		67%
8	生徒	わたしは、身の回りの出来事に対して、自分に引き寄せたり自分に置き換えたりして、考え行動しようとしている。		82%
	保護者	お子さんは、身の回りの出来事に対して、自分に引き寄せたり自分に置き換えたりして、考え行動しようとしている。		72%
9	生徒	わたしは、英会話の力(ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えたり、相手の言葉を理解できたりする)が伸びている。		78%
10	生徒	わたしは、物事を多面的・多角的にとらえようとしている。		80%
	保護者	お子さんは、物事を一方向から見ないで、多面的・多角的にとらえようとしている。		61%
11	生徒	わたしは、相手の思いや考えを大切にし、根拠などをもとにして自分の考えや思いをしっかりと伝えている。		83%

学習関係について分析と今後の取組

No.5については、コンピューター室や図書室を有効に活用するため、課題を早めに生徒に伝え、家庭でも調べる期間を長くとれるようにしたい。No.6については、授業後の振り返りが学習の定着に重要と考える。今年度からの新たな取組なので、生徒の様子を確認しながら適切に見直しを図っていく予定である。生徒が記入した問いに対して、教師がどのようにフィードバックをしていくか、個人に返すことだけでなく、授業の中でとりあげ、全体へ返していくことも必要であると考えている。

No.	対象	【生活関係】	質問項目	達成度
12	生徒	わたしは、学校生活が楽しい。		92%
	保護者	お子さんは、学校生活を楽しみ、満足している。		87%
13	生徒	わたしたちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。		95%
	保護者	お子さんは、社会生活のルール(交通規範、あいさつ、マナー等)を守っている。		97%
14	生徒	わたしは、登校時刻や2分前着席の時間を守り、規則正しい生活を送っている。		96%
	保護者	お子さんは、規則正しい生活を送っている。		75%
15	生徒	わたしは、制服や校内服の着方、髪型や眉等の学校のきまりを守っている。		99%
	保護者	お子さんは、家庭の中での約束(携帯の使用や門限等)を守っている。		63%
16	生徒	わたしには、よいところがある。		79%
17	生徒	わたしは、仲間の良さに気づき、互いの良さを認め合って生活している。		94%
18	生徒	わたしの学校には、安心・安全な環境がある。		97%

No.	対象	【生活関係】	質問項目	達成度
19	生徒		わたしは、誰にでも挨拶し、返し、コミュニケーションを図ろうとしている。	93%
21	生徒		わたしは、学校に相談できる友達や先生がいる。	91%
22	生徒		わたしは、場に応じたあいさつや言葉遣いをしている。	95%

生活関係について分析と今後の取組

No.12 について、休校期間が長かった今年度の状況でこの数値は高いと考える。この数値を2学期以降保っていきたい。「当てはまらない」を選択した生徒を支援するため QU の結果も活用し、不適応を起こしている生徒や支援が必要な生徒を把握し、情報の共有も図る。No.16については、一人一人の活躍の場を設け、努力を認め合う機会を増やし、自己肯定感を高めていく指導を充実させたい。

No.	対象	【特別活動関係】	質問項目	達成度
23	生徒		わたしは、仲間と協力し、思いやりの心をもって生活している。	96%
24	生徒		わたしは、係活動や委員会活動などに責任をもって取り組んでいる。	97%
25	生徒		わたしは、まわりの人の役に立ったり、まわりの人から感謝されたりしたことがある。	88%
26	生徒		わたしは、ボランティア活動や地域活動へ、積極的に参加しようとしている。	73%
27	生徒		わたしは、目標や夢をもって学校生活(学習や部活動、行事など)に取り組んでいる。	91%
28	生徒		わたしは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	61%
29	生徒		学級目標や生徒会スローガンの意味を理解し、学級や豊中生の一員としてそれらの達成を目指している。	92%

特別活動関係について分析と今後の取組

No.24 は「当てはまる」の割合も高く、一人一役の成果が上がっている。更に、学級力アンケートを通して、自分の学級だけでなく、他の学級の取組にも目を向けると共に、中央委員会・生徒会礼を更に活性化させる工夫により、多面的・多角的な視点で学級づくりをしていきたい。No.26 については、コロナの影響で校外での活動の機会が激減しているためと考える。

No.	対象	【保護者のみの質問】	質問項目	達成度
30	保護者		学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	77%
31	保護者		お子さんは、学校に相談できる友達や先生がいる。	87%
32	保護者		教職員に、お子さんのことを相談しやすい。	80%
33	保護者		先生は、お子さんのことを理解して指導にあたっている。	87%
34	保護者		行事や参観会にできるだけ参加している。	85%
35	保護者		学校から配布される「たより」や「通信」などに目を通してしている。	94%
36	保護者		コミュニティスクールとして、学校運営に地域の人の意見が取り入れられていることを知っている。	70%
37	保護者		豊岡中学校区における保こ幼小中一貫教育の内容を理解している。	76%

保護者の方からは他にも御意見を記述していただきました。一部、御案内させていただきます。

意見①一貫教育のメリット・デメリット等やコロナ禍での推進の難しさはどうか。

子供の成長に向けて互いに連携していくことは、こ幼小中それぞれの教育活動を検証し、かつ改善していくために欠かせないことと考えます。こ幼小中合同研修は生徒の生活・学習指導に活かせることを学ぶ機会にもなります。コロナ禍で今年度は規模を縮小していますが、できることを模索しています。

意見②学校だより、学年だより、学級通信などにより学校での様子がよくわかる。コロナのため制限されるのは仕方ないが、子供たちが生き生きと活動する場を設けてほしい。

今年度、校外で活動したり、高齢者と接したりする学習を中止していますが、可能な行事は感染対策を講じながら計画し、実施しています。今後も皆様の御理解と御協力をお願いします。

意見③文化部を増やしてほしい。

学級数の関係で職員数が減少しているため、現在、副顧問が複数部を兼任しているため、新たに部を増やすことは難しい状況です。今後、適正な部活動のあり方を検討していきます。

Email:toyooka-j@city-iyata.ed.jp TEL:62-2085 FAX:62-5962 文責:原田修(教頭)